

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 3 年 3 月 25 日 (2021.3.25)

【公開番号】特開 2019-152902 (P2019-152902A)

【公開日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)

【年通号数】公開・登録公報 2019-037

【出願番号】特願 2018-35420 (P2018-35420)

【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

G 0 6 F 13/00 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

G 0 6 F 11/30 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 3 7 3

G 0 6 F 13/00 3 5 1 N

H 0 4 N 1/00 1 2 7 A

G 0 6 F 11/30 1 6 8

G 0 6 F 11/30 1 4 0 D

G 0 6 F 3/12 3 0 3

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 4 日 (2021.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 7】

C P U 3 0 1 は、R O M 3 0 2 に格納されているブートプログラムを実行して O S を起動する。R O M 3 0 2 は、e M M C 等のフラッシュメモリとそのコントローラとで構成されている。R O M 3 0 2 には、C P U 3 0 1 によって実行される制御プログラムが格納される。C P U 3 0 1 は、O S 上で、R O M 3 0 2 又は H D D 3 0 4 に格納されているアプリケーションプログラムを実行することにより、各種処理を実行する。R A M 3 0 3 は、C P U 3 0 1 に対して作業領域を提供するとともに、画像データを一時的に格納するための画像メモリ領域を提供する。R O M 3 0 2 又は H D D 3 0 4 には、上記のアプリケーションプログラム、画像データ、及び各種設定値が格納される。なお、H D D 3 0 4 は M F P 1 2 0 に搭載されていない場合もある。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 4 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 4 1】

次に S 5 0 3 で、構造化モジュール 4 0 3 は、S 5 0 1 で確認したイベントの種別に応じて、中間データに含めるべきデータ（中間データの生成に必要なデータ）を決定する。例えば、イベントの種別がジョブの開始イベントである場合には、ジョブの投入者、及びコピー又はプリントといったジョブの種別等のデータが、必要なデータとして決定される。また、イベントの種別がジョブの終了イベントである場合、ジョブの実行の成否等のデータが、必要なデータとして決定される。なお、決定されるデータは、これらのデータに

限定されず、任意の方法でデータが決定されてよい。